

腸チフスは 口から傳染

各自の油断が一番禁物 平全町に注意書

平町では過般の天然痘に脅かされて漸くこれが終熄を告げると昨今腸チフス患者を出すに至つたので極力これが豫防に努めその撲滅策を講じてゐるがこれに就き町衛生係では語る『平町では水道敷設以來病菌の媒介をなす流れ水等を使用しなくなつたので逐年腸チフス患者の發生を減退させて來てゐるが然し矢張り各自が油断をするとその位の事では未然にふせぐ事も困難で夥しい患者を出す様になるかも知れないからこの際一般の細心なる注意が肝要で殊に花時にもなり飲食物をとる量なども多くなり殊に傳染病の本季節にも入る事であるからこれ等の方面に注意して先づ終熄に協力して努めて貰いたい』因に平町役場、平警察署、平衛生會の名を以つて左記

一、腸チフスは口から傳染しますから食物は一切煮焼して食べる様注意せねばなりません
一、殊に胃腸の悪い時に多く傳染しますから暴飲暴食を慎まなければなりません
一、有熱患者のある家では腸チフスと決定されないうちにも來客に茶菓その他の飲食物をすゝめぬ様遠慮しなさい
一、有熱患者のある家を訪問することは努めて之を避け且つ飲食することからは非常に危険でありますから必ず飲食せぬ様注意せねばなりません
一、熱のある病人は一刻も早く醫師の診察を受けねばなりません
一、若し熱のある病人を自宅に隠蔽し置くやと醫療看護も行届かず遂には治る病人も助からぬ事がありまた、二人三人と傳染させる許りでなく近親の人々にも蔓延させる恐があります
一、御互衛生上公德を守り且法令を遵守し此際是非撲滅を圖らねばなりません

好轉の氣勢見えて 空屋が著しく減少

飽き々々した沈滞から 脱した平町の景況

平町地方も久しい間の不景氣から脱出して好轉歩調をたどるに至つたものか昨年あたりまでは殆んど手の出し様もなかつた

發狂を装ひ 署員を手古摺す

住所不定新潟縣北蒲原郡中條町生れ遠藤清作(六八)は昨日暴動不審の廉で平署に檢束されたが精神病者を装つて散々に泣き喚き留置場の出入口より不潔物を撒き散らし署員を手古摺らして居

大さな 空家が目扱

きの場所に散在してゐたのに昨今ではぼつ／＼ながらこれ等の空家も店構ひなどを改造されて世に出る様になりその他全町の空家も昨年に比し著しく減少した傾向を見せて景氣回復の兆を示すに至つたから附近炭礦漁場農村などの復活と共に好景氣來の

坑内に見た椿の花

奇しくも廻り合せた不運 戦く不吉な前兆

道程に 入りたるも

のと觀測して過りなかるべし銀行郵便局方面より見たる金融事情等も昨今著しく預金の増額を示して地方民一般が内容を充實して來てゐる事が窺はれると

石城郡内郷村大字宮警城炭礦後山婦杉本キン(三〇)は十日午前七時頃第三斜坑内の水溝で一輪の椿の花を見たが坑内労働者等は坑内で椿の花を見るは不吉の前兆として是れを嫌ふ例になつて居る爲め共に仕事をして居

夫の寫眞を携へ 年増女が捜査願

九百餘圓を持ち去られ 平署へ泣き込む

十日午後二時頃一葉の寫眞を携へて平署に出頭した一人の婦人が泣きながら『私の亭主を見つけて下さい』と願ひ出たので係員が問ひ訊して見るとこの婦人は石城郡内郷村大字高坑木村キヨ(一

石城郡内郷村大字宮警城炭礦後山婦杉本キン(三〇)は十日午前七時頃第三斜坑内の水溝で一輪の椿の花を見たが坑内労働者等は坑内で椿の花を見るは不吉の前兆として是れを嫌ふ例になつて居る爲め共に仕事をして居

た先山夫の鈴木某は仕事を切り上げ歸宅したのでキンも縁起を擔いて何んとなしく薄氣味悪くなり歸りかけた際突然落盤があつて押し潰され慘死したと

たが同署では直ちに同人の指紋をとつて各地に照會中である

平の滞納額

一萬一千餘圓 平町二年度後期の町税滞納額は一萬一千五百三十餘圓に達し町當局は督促令状を發して整理に努めてゐたが納税指定期日は十日限りでいよいよ滞納處分を行ふ事となつた

戸籍事務研究

平區 裁判所管内各町村役場戸籍吏員の戸籍事務研究会は十八、十九の兩日平町元郡役所會議室に於て開催される由

小川實行農會

石城郡小川村農事實行組合では十三日午後一時から小學校に總會を開く等であるが當日は苗代に關する講話會も催す

募集

文藝其他投稿募集します

感激せしめた 濱島一等卒

大越中佐除幕式祝辭 軍神大越中佐の銅像除幕式當日の來賓には今を時めく宇垣前陸相その他知名の士少からざる中に特別に參列者を感激せしめたのは當時中佐の自及前後にあつて死主の間よく中佐のために働いた濱島淺治氏(當時二十六歳の豫備一等卒であつた氏は今や四十九歳に達し今回の除幕式を機會として來郡せるもののである、左記同氏の祝辭朗讀に對しては中には嗚咽の聲さへ發した者も少くなかつた

軍人の典型たる故大越中佐殿の銅像除幕式を行はせらるゝに當り不肖濱島淺治其唯々感謝感激の外何物をも知らず茲に精功雄大なる中佐殿の銅像を拜し其の人に接するが如く

激戦は 言語に絶し

不肖淺治も傷を負ひて倒れたる人あるに驚き尋ねれば大越大隊長なりと、如何にもして援け參らせばやと我が傷を忘り中佐殿の傍に俯ひよれば中佐殿の仰せらるには傷敷ケ所にして余は是れまでなりと不肖濱島に

今尙ほ 眼前に見る

が如くにして禿筆のよく盡す所にあらず只々中佐殿の終始一貫至誠奉公の念慮厚きに感激するのみ中佐殿の赤誠は年々共に愈々感化の大なるものあり第六聯隊に於て毎年三月十日の陸軍戦捷記念日に軍神中佐殿を軍人の典型として尊崇する事重且つ大にして

中佐殿 の御偉功に

關する催し有不肖濱島常に招かれて席末に倚るその光榮を思ふ、中佐殿の徳化の我等に迄及ぶを思ひ謝す

萬事を 命せれる轟

然中佐殿は拳銃にて前部を射し最期を遂げらる嗚呼の命の重きを思ひ涙を拂つて遺体を拜し末期の水を供し中佐殿の愛撫せられ軍刀を背に負ひ永別し匍匐又匍匐して西李官堡なる旅團

毎日五頭の 牛馬が飛込む

平町去月中に於ける屠殺數は牛十二頭、豚九十四頭、馬三十四頭合計百四十二頭一萬二千八百三十三キログラムで一日平均約五頭の牛馬豚肉が平町民の口の中に入つた事になるが之れを前年の三月に比較すると牛が一頭、馬五頭の増加豚は十五頭減じてゐる

祝 辭

本日の佳辰を卜し忠烈義烈此地の